

# 福岡県豊前市地域高年齢者就業機会確保計画

令和4年7月15日

〔 福岡県  
豊前市 〕

# 目 次

## 第1 地域高年齢者就業機会確保計画

- 1 地域高年齢者就業機会確保計画の区域 . . . 1
- 2 計画期間 . . . 1
- 3 重点的に高年齢者等の就業の機会の確保を図る業種 . . . 1
  - (1) 計画区域での重点業種の設定と理由
  - (2) 高年齢者等の雇用動向と今後の見通し
  - (3) 課題
- 4 国が実施する高年齢者等の雇用に資する事業（提案） . . . 5
  - (1) 事業内容（支援対象者、実施時期・期間、実施機関 等）
  - (2) 計画区域における高年齢者等の雇用・就業機会の確保の目標
- 5 民間資金等の調達 . . . 15
- 6 福岡県豊前市が実施している地域福祉・地方創生等の地域活性化などの取組 . . . 15

## 第2 本計画の協議先となる協議会

- 1 協議会の名称及び構成員 . . . 16
  - (1) 名称
  - (2) 構成員と参画の趣旨・役割
- 2 計画期間終了後における協議会の在り方 . . . 18

## 第1 地域高年齢者就業機会確保計画

### 1 地域高年齢者就業機会確保計画の区域

福岡県豊前市

### 2 計画期間

令和4年8月1日～令和7年3月31日

### 3 重点的に高年齢者の就業の機会の確保を図る業種

#### (1) 計画区域での重点業種の設定と理由

##### ①農林水産業

農林水産業は米、麦、スイートコーン、あまおうなどの農作物、豊前海一粒かきやハモなどの海産物、京築ヒノキの林業と本市の主要産業のひとつである。特に各種加工品が特産品として販売されている農業においては、平成12年には2,183戸あった農業戸数が、平成27年には739戸と15年間で約1/3まで減少している。さらに、農業従事者が減少することにより、1戸あたりの耕作面積が拡大しており、従前のような家族での経営のみでは、手が回らなくなっている。【図7】

また、旬となる同種の農林水産物が一定期間に収穫や漁獲の時期を迎えることとなり、繁忙期が重なることで人手不足が解消しづらい状況となっている。すぐにでも人手が欲しい雇用側と短期間勤務ならば可能であるという雇用される側のニーズのマッチングが見込まれる。また、仕事内容を分解（収穫、収穫された作物の箱詰めなど）しやすい一面もあり、高年齢者層だけでなく、障がいをお持ちの方、短時間勤務を望む子育て中の方など、ユニバーサルに活躍が見込まれる分野である。一次産業は、安心安全で持続可能な地域であるためになくしてはならない産業であること同時に、収穫や漁獲する作物、そしてその加工品が特産品として地域になくしてはならないものである。また、繁忙期の人材確保に苦慮している現状が散見されることも踏まえ、重点業種として設定する。

【図7 年次別農業概況（農業センサス（平成12年～27年））】

区分		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	
農業戸数	総数	2,183戸	1,219戸	909戸	739戸	
	規模別	0.3ha未満	528戸	8戸	2戸	9戸
		0.3～2.99	1,644戸	1,173戸	850戸	637戸
		3.0～4.99	5戸	19戸	25戸	22戸
		5.0～7.49	4戸	10戸	18戸	24戸
		7.5～9.99	0戸			
		10.0～14.99	1戸	8戸	14戸	14戸
		15.0～19.99	0戸			
20.0ha以上	1戸	1戸	0戸	1戸		
面地耕	総数	1,426ha	1,142ha	1,043ha	1,032ha	

	田	1,330ha	1,077ha	988ha	987ha
	畑	96ha	65ha	55ha	45ha

## ②製造業

本市には、東部工業団地や能徳工業団地を中心に自動車部品や透析機器などの製造を行う工場が立地されている。これは、工業団地の造成を行うことにより企業誘致を進めてきた本市の特徴であると同時に、福岡県苅田町や大分県中津市など近隣自治体に自動車製造工場が多く立地していることによる。平成28年4月には、東九州自動車道の豊前インターチェンジが開通し、製造業の交通網がさらに強化されることとなった。このような中、本市における製造業の付加価値額は、第1次産業190万円、第2次産業882万円、第3次産業721万円となっており、第2次産業に分類される製造業の付加価値額が最も大きく、全国順位が最も高いものとなっている。【図8】付加価値額が最も高く、人材雇用に対する投資額を生み出す可能性が高い分野である一方、近年、特に中小製造業は人材募集を行っても応募がないという課題を抱えている。本市で最も多くの雇用を生み、地域を支えている製造業がこのような状況にあるのは、高校や大学を卒業した新卒の若者などが、製造業を避ける傾向にあるからである。このような状況にあるからこそ、協議会が企業のニーズを聞き取るところから受託を行うことで、勤務時間や募集内容の調整（1人募集を短時間2人勤務にするなど）が可能となり、このニーズに対し新たな雇用の可能性が見込まれている。また、高年齢者層の持つ知識や経験が活かされる業務も見込まれることから、製造業を重点業種に設定する。

【図8 RESAS＞地域経済循環マップ＞地域経済循環図】

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額/人	190万円	882万円	721万円
付加価値額/人 (全国順位)	1,272位/1,719	675位/1,719	1,009位/1,719

## ③IT系業種

本市では地方創生事業の取組として、従前の製造業を中心とした工場誘致から、サテライトオフィス入居施設の整備による都市部企業を中心とするIT業種の誘致へ、企業誘致の在り方を変えるべく取り組んでいる。「働いてみたい」企業がないから本市から離れるという人々にとって「働きたい」業種でもあり、これら企業にとって地方に進出する魅力のひとつは、都市部に比べ採用コストを抑え、かつ、有能な人材確保を狙うことであるため、採用に関するニーズが見込まれる。

工場の撤退による多数の離職者を抱える自治体が報道されるなど、既存事業主に対する仕事のみを対象にしたプロジェクトでは持続可能性の担保が難しい。そこで、新たな市外からの新たな企業誘致、もしくは、都市部企業の業務を本市にしながらできることにより、市外からの仕事を呼び込むことで、本プロジェクトのサステイナブルな自走を狙う意図もあり、重

点業種に設定する。

## (2) 高齢者の雇用動向と今後の見通し

### ①農林水産業

2020農林業センサスによると、農業に60日以上従事した人の本市平均年齢は66.8歳となっており、福岡県平均の64.7歳に比べても高齢層の農林業従事者が多い。地方創生推進事業で若手農業従事者の活躍が見込まれる中、従来から従事してきた高齢層からの知識やスキルの継承という「農林水産業＝一次産業」が持続可能な職業であり続けるための取組となることも見込まれる。一次産業を短時間手伝い賃金を得るという仕事は、高齢者層にとっては日常の中に溶け込んでいる家庭菜園の延長のイメージを持つこともでき、比較的受け入れやすい業種である。

### ②製造業

平成27年国勢調査によると、製造業の就労人口は前回平成22年調査から914人減少しており、製造業の雇用確保が難しい状況となっている。これに対応するため、日本全体の傾向と同じく豊前市でも外国人技能実習生の雇用が進んでいる。新型コロナウイルス感染症感染拡大により国外からの入国ができない事案も見られ、幅広い雇用の確保対策が求められており、高齢者層等のみならず短時間勤務希望者や単純労働なら可能な方々など多様な雇用確保にも繋げられる見込みである。

### ③IT系業種

「おしごとパレット」プロジェクトにおいては、多様な人々が支え合いボトムアップしていくことが、相互に作用しそれぞれの雇用と活躍を生み出すという仕組みであることから、若者の流出を極力抑えるための対策も重点課題となる。リーサスによる豊前市の1980年以降の年齢階層別純移動数の時系列分析では、15歳～19歳→20歳～24歳の区分において大幅な減少が40年以上にわたり継続している。次の区分である20歳～24歳→25歳～29歳では増加した年も過去にあったが、近年は減少に転じており、地域の担い手になりうる世代の減少が顕著である。これは今までの二次産業を中心とした企業誘致施策と、若者の求める職種にミスマッチが起きていることを意味している。本市に住み都市部の仕事ができる環境を作ることで、誰もが働きやすい地域に向けた取組を行う。また、IT系業種はパソコン操作など高齢者層が苦手に行っている分野のように思えるが、その仕事を分解してみると、例えば集中的な発送業務や掃除等の高齢者層が得意とする分野の業務も洗い出すことができる。

## (3) 課題

本市の高齢者等の雇用に関する課題として、重点業種に限らず、まずは高齢者が抱く、「高齢者層になっても働いている＝生活が苦しいのだろう」というマイナスの印象を変えていく必要がある。「おしごとパレット」プロジェクトでは、本市が行政として企画から進めていることを周

知していき、「豊前市のために」働いており、お金のためではなく地域貢献として働いているというイメージを定着させる。これにより、働きたいという想いをもちながらも世間体を気にして控えていた人材も、意欲を持って就労に取り組むことができる。

求職者側からは、農業者などの一次産業の多くがハローワーク等に求人を出していないため求人情報が得られない、体力面や未経験分野の仕事内容の不安から新しい就労に挑戦できない、短時間就労など自分の希望に合った仕事が少ないという意見がある。

他方、事業所側からは、採用募集しても応募が少ない、雇用する際に親身にマッチングしてくれる人がいれば、安心して雇用できるという意見がある。

### ①農林水産業

農林水産業従事者は個人で営むことが多いため、雇用される側との関係性の構築や指揮命令系統の順守など、雇用する側、される側との情報共有に課題が見込まれる。また、家族で経営してきた人にとっては、「求人する」ことこそが、ノウハウもない初めて行う大きな仕事であり、人手不足が進んでいるのに求人が後手に回っている傾向にある。また、繁忙期に人手が大量に必要となり、閑散期は家族のみで対応可能など、通年雇用が難しいという特性がある。ノウハウをもつパレットコーディネーターなどがヒアリングを重ね、「おしごとパレット」に求人情報を集約することで、この特性についての対応が可能となる。また、この集約の際には、短時間かつ就労する人が無理のない働き方ができるように、例えば、収穫、選定、箱詰め、出荷などの工程を分解するなどして、仕事の整理も同時に行う。また、登録している人個人ではなく、チームでひとつの仕事を遂行するようにマネジメントすることで、急な休みにも対応できるなど、高年齢者層を含む多様な就労を希望する人にとっての敷居をできる限り低くしていく。これにより、体力的にきついなどという農林水産業のイメージを払拭すると同時に、繁忙期の人手不足の解決へ寄与する。

### ②製造業

交代勤務での就業時間や仕事内容のままでは、現状のとおり雇用の確保が難しい状況は変わらない。特に長時間勤務や煩雑な業務を敬遠しているが「働きたい、お金を稼ぎたい」という潜在的なニーズを持つ人々にとって、魅力ある仕事として認識される必要がある。ノウハウをもつパレットコーディネーターがヒアリングを重ね、製造業の中にも希望する業務があることを「おしごとパレット」に集約していく。この集約の際には、短時間かつ就労する人が無理のない働き方ができるように、工程を分解するなどして、仕事の整理も同時に行う。登録している人個人ではなく、チームでひとつの仕事を遂行するようにマネジメントすることで、急な休みにも対応できるなど、就労を希望する人にとっての敷居をできる限り低くしていく。

事業者にとっては、求人を出しても応募者がいない状況に対し、整理・分割というマネジメントにより、就労する人とのマッチングが行いやすくなり、事業の効率化にも寄与する。

### ③ I T系業種

急速なデジタル化社会の前線で業務をすることが多い I T系業種だが、実際はパソコンでの入力作業、WEBページの管理・運営など、様々な業種が想定される。いずれの I T系企業においても、パソコン操作に慣れていることが必須条件となる見込みである。このパソコン操作については、県内4か所のみである職業訓練センターが本市に立地していることもあり、就労を目的とするパソコン技術の習得に本市及び近隣自治体から訓練にやってくる。これにより、パソコン技術がないから就労希望があるのに I T系業種はあきらめるといような高年齢者層も、意欲があれば挑戦の機会が増える。このパソコン操作を習得できる環境が備わっていることに加え、本プロジェクトでの民間の知見を活用したセミナーやスキルアップ研修を実施することで、基礎的なパソコン技術のみならず業務遂行能力の底上げにより有能な人材(=人財)の育成を図る。また、この仕組みが定着し、本市では有能な人材(=人財)の確保ができるというイメージができ、これにより更なる I T系業種の進出や都市部に所在している事業主がその業務をこの「おしごとパレット」に委託する関係性の構築を目指す。

## 4 国が実施する高年齢者等の雇用に資する事業(提案)

### (1) 事業内容(支援対象者、実施時期・期間 等)

#### 【令和4年度】

#### (1) おしごとパレット窓口設置・運営事業～“敷居の低い”伴走支援～

ア 高年齢者層をはじめ、障がい者、子育て中の方、学生など誰もがいつでも立ち寄れる“敷居の低い”場所となるために、このプロジェクトとなる要である地域密着のパレットコーディネーターの募集及び人材育成を図る。人材育成においては、先進事例である株式会社はたらこらぼより「しごとコンビニ」の知見を活かしたサポートを受け、仕事の整理・分解やマッチング等おしごとパレットの円滑な運用体制を構築する。民間知識や様々な得意分野を持つパレットアシスタント(NNP)が、雇用をしたい事業者や就労を希望する人それぞれにあった専門的な相談に乗る。これらパレットコーディネーターとパレットアシスタントの連携、さらには、他の機関(シルバー人材センター、社会福祉協議会など)とも密に連携を行うことで、空き時間に働きたい、短時間でできる仕事をしたい、人の役に立ちたいなど、希望する時間や業務内容で働くことができる基盤を作る。協議会構成メンバーの連携により、市内事業者及び市民の幅広い層への周知を図る。

#### イ 支援対象者

高年齢層得を含む従来の求人では就労の機会を得られなかった人  
人材の確保に苦慮する本市内所在の事業所

#### ウ 事業実施時期・期間

令和4年10月～令和5年3月

#### エ 支援対象者の誘致方法

①支援員による訪問 ②豊前市広報紙への掲載

③ SNS等 ④動画、チラシ、ポスター等

- (2) おしごとパレット就労支援事業～多様な就労ニーズを実現するために～
- ア おしごとパレットに登録する事業者が、就労を望むような知識やスキルを持った人材（以下、人財）の育成を行う。行政の行う就労支援に関する講座ではなく、民間事業者であるNNPによる講座、そして、チームで仕事を成し遂げていくことに通じるコミュニティづくりセミナーを実施する。これら就労支援により、スキルアップと合わせ、副業や兼業、起業など、幅広い仕事のやり方を知り、やってみたい仕事、できる仕事の幅を広げるとともに、チームで仕事に取り組む基盤を作る。協議会構成メンバーの連携により、市内事業者及び市民の幅広い層への周知を図る。

イ 支援対象者

高年齢層得を含む従来の求人では就労の機会を得られなかった人

ウ 事業実施時期・期間

令和4年10月～令和5年3月

エ 支援対象者の誘致方法

- ①おしごとパレットでの声かけ ②豊前市広報紙への掲載  
③ SNS等 ④動画、チラシ、ポスター等

- (3) おしごとパレットプロモーション事業～“敷居の低い”伴走支援～

ア おしごとパレットを高年齢者層含む就労を希望する人や事業者に広く周知し、利用者の拡大を目指す。高年齢者層向けには紙ベースでのチラシやポスター、スマートフォンやパソコンを活用する高年齢者層や障がいをお持ちの方、子育て中の方という多様な方々には、SNSやサイトに動画を掲載するなどの周知を行う。チラシやポスターでは情報がその時時点のものでしかないため、SNSやインターネットを活用するプロモーションにより、随時最新の情報を提供する。

また、令和5年1月からおしごとパレットの試行を進め、令和5年3月には本プロジェクトの機運醸成を目指しシンポジウムを開催する。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を踏まえ、会場とオンラインのハイブリッド開催を想定している。

イ 支援対象者

高年齢層得を含む従来の求人では就労の機会を得られなかった人  
人材の確保に苦慮する本市内所在の事業所

ウ 事業実施時期・期間

令和4年10月～令和5年3月

エ 支援対象者の誘致方法

- ①支援員による訪問 ②豊前市広報紙への掲載  
③ SNS等 ④動画、チラシ、ポスター等



(4) おしごとパレットPDC Aサイクル確立事業～自走に向け～

ア 地方創生推進事業にて地域の実情に精通している株式会社ホーホウが事業者を回りニーズ調査を進め、この情報を基にパレットマネージャーが窓口で就労希望者とのマッチングに繋げる。また、つな研の伴走支援を受け、おしごとパレットが、生涯現役地域づくり環境整備事業の射程や目的を的確にとらえ、プラットフォームや事業モデルの横展開が可能となる仕組みづくりを進める。

イ 支援対象者

人材の確保に苦慮する本市内所在の事業所

ウ 事業実施時期・期間

令和4年10月～令和5年3月

エ 支援対象者の誘致方法

- ①支援員による訪問
- ②豊前市広報紙への掲載
- ③SNS等
- ④動画、チラシ、ポスター等

【令和5年度】

(1) おしごとパレット窓口設置・運営事業～“敷居の低い”伴走支援～

ア 令和4年度の試行期間を経て、就労希望者のニーズ傾向をとらえ、その上で、パレットコーディネーターがニーズや業務の経過ヒアリングについてのノウハウをパレットアシスタントから受け、事業者側の求める仕事についての理解を深める。これにより、就労希望者が求める空き時間や短時間勤務が可能となる仕事や活躍先を増やし、おしごとパレットの機能強化を進める。協議会構成メンバーの連携により、市内事業者及び市民への更なる周知を図る。

イ 支援対象者

高齢層得を含む従来の求人では就労の機会を得られなかった人材の確保に苦慮する本市内所在の事業所

ウ 事業実施時期・期間

令和5年4月～令和6年3月

エ 支援対象者の誘致方法

- ①支援員による訪問
- ②豊前市広報紙への掲載
- ③SNS等
- ④動画、チラシ、ポスター等

(2) おしごとパレット就労支援事業～多様な就労ニーズを実現するために～

ア 引き続き、行政の行う就労支援に関する講座ではなく、民間事業者であるNNPによる講座、そして、チームで仕事を成し遂げていくことに通じるコミュニティづくりセミナーを実施する。本市には県内4か所しかない職業訓練センターがあるため、パソコンや各種資格取得を希望する就労希望者には紹介を行う。これにより、やりたい仕事をできる仕事にし、希望

する仕事ができる体制を整えていく。協議会構成メンバーの連携により、市内事業者及び市民への更なる周知を図る。

イ 支援対象者

高齢層得を含む従来の求人では就労の機会を得られなかった人

ウ 事業実施時期・期間

令和5年4月～令和6年3月

エ 支援対象者の誘致方法

- ①おしごとパレットでの声かけ ②豊前市広報紙への掲載
- ③SNS等 ④動画、チラシ、ポスター等

(3) おしごとパレットプロモーション事業～“敷居の低い”伴走支援～

ア 希望する就労ができた高齢層や障がい者、子育て中の方、学生にインタビューし、活躍している姿を動画で撮影し、おしごとパレット窓口やSNS等で周知を行う。多様な人々が仕事等を通して活躍している姿を見もらうことで、おしごとパレットの良さを広く周知する。

イ 支援対象者

高齢層得を含む従来の求人では就労の機会を得られなかった人  
人材の確保に苦慮する本市内所在の事業所

ウ 事業実施時期・期間

令和5年4月～令和6年3月

エ 支援対象者の誘致方法

- ①支援員による訪問 ②豊前市広報紙への掲載
- ③SNS等 ④動画、チラシ、ポスター等

(4) おしごとパレットPDCAサイクル確立事業～自走に向けて～

ア 高齢層や障がい者、子育て中の方、学生の仕事や活躍に関する希望を叶え、実施した仕事等に対するヒアリングを丁寧に行い、次回以降の事業者側の仕事の整理・分解を工夫し、さらに働きやすい魅力的な仕事等の創出を図る。つな研の伴走支援を受け、おしごとパレットが、生涯現役地域づくり環境整備事業の射程や目的を的確にとらえ、プラットフォームや事業モデルの横展開が可能となる仕組みづくりを進める。

イ 支援対象者

人材の確保に苦慮する本市内所在の事業所

ウ 事業実施時期・期間

令和5年4月～令和6年3月

エ 支援対象者の誘致方法

- ①支援員による訪問 ②豊前市広報紙への掲載
- ③SNS等 ④動画、チラシ、ポスター等

## 【令和6年度】

### (1) おしごとパレット窓口設置・運営事業～“敷居の低い”伴走支援～

ア 希望に応じた就労・活躍の体験を重ねた就労希望者と、人手不足が解消できたという事業者側の成功体験が積み上がり、おしごとパレットへの就労希望者と事業者の登録数が増加することが想定される。これにより、さらに幅広い仕事のニーズが集約され、副業や兼業、ボランティアなど多様な働き方・活躍のし方を求める就労希望者とのマッチングが進む。協議会構成メンバーの連携により、市内事業者及び市民への成果の周知を図る。これら蓄積してきたノウハウを整理し、令和7年度以降の自走の仕組みについて協議を重ねる。

#### イ 支援対象者

高年齢層得を含む従来の求人では就労の機会を得られなかった人  
人材の確保に苦慮する本市内所在の事業所

#### ウ 事業実施時期・期間

令和6年4月～令和7年3月

#### エ 支援対象者の誘致方法

- ①支援員による訪問 ②豊前市広報紙への掲載
- ③SNS等 ④動画、チラシ、ポスター等

### (2) おしごとパレット就労支援事業～多様な就労ニーズを実現するために～

ア 3年間継続した就労支援を実施することで、就労希望者のスキルアップに資するとともに、市内事業者はもちろん、業務や機能の都市部からの移転を検討する人々が魅力と感じる、雇用側、雇用される側それぞれにとってメリットのある人財の育成となる。そして、多様な人財が多くいる地域であるというブランディングを進めることに繋がる。市内事業者が雇用を確保することができると同時に、市外事業者からも魅力的な地域となり新たな仕事を呼び込む仕組みづくりの一環となる。これにより、おしごとパレットが市内の仕事量に依存して成立するのではなく、より持続可能な仕組みとして成立する取組となることを目指す。

#### イ 支援対象者

高年齢層得を含む従来の求人では就労の機会を得られなかった人

#### ウ 事業実施時期・期間

令和6年4月～令和7年3月

#### エ 支援対象者の誘致方法

- ①おしごとパレットでの声かけ ②豊前市広報紙への掲載
- ③SNS等 ④動画、チラシ、ポスター等

(3) おしごとパレットプロモーション事業～“敷居の低い”伴走支援～

ア 高年齢者層や障がい者、子育て中の方、学生が働いている姿を撮影する際に、副業や兼業、起業した人にもスポットを当て多様な働き方をインタビューし周知を図る。また、事業者側の声も動画に収めることで、本市全体で仕事・活躍に対する課題解決を進めていることを周知する。

さらに、事業の総仕上げ及び今後の自走のスタートを広く周知するため、令和7年3月にシンポジウムを開催する。市内会場及びオンラインでのハイブリッド開催を行うことで、市内事業者での活用をさらに進めるためのものであると同時に、民間資金の調達方法として、プラットフォームや事業モデルの横展開に伴う講演や併走支援の営業も目指す。

イ 支援対象者

高年齢層得を含む従来の求人では就労の機会を得られなかった人材の確保に苦慮する本市内所在の事業所

ウ 事業実施時期・期間

令和5年4月～令和6年3月

エ 支援対象者の誘致方法

- ①支援員による訪問
- ②豊前市広報紙への掲載
- ③SNS等
- ④動画、チラシ、ポスター等

(4) おしごとパレットPDC Aサイクル確立事業～自走に向けて～

ア おしごとパレットを進めていく上で、欠かせないのが令和7年度からの自走に向けた仕組みづくりである。この仕組みづくりにおいては、雇用をする事業者側のニーズ調査、そのニーズに向けた施策の企画・立案、実施した事業に対する評価、次回施策への反映とPDC Aの確立が重要となる。積み重ねてきたニーズ調査、仕事をした後のヒアリング、シルバー人材センターや社会福祉協議会など関係機関への紹介などの実績を整理し、課題が見つかる都度調整を進める。つな研の伴走支援を受け、おしごとパレットの仕組みや構造が真に生涯活躍地域づくりを牽引する仕組みとなることと同時に、おしごとパレットを行う組織がPDC Aサイクルを回しながら仕事に関する課題を解決していく力を蓄える。

イ 支援対象者

人材の確保に苦慮する本市内所在の事業所

ウ 事業実施時期・期間

令和5年4月～令和6年3月

エ 支援対象者の誘致方法

- ①支援員による訪問
- ②豊前市広報紙への掲載
- ③SNS等
- ④動画、チラシ、ポスター等

## (2) 計画区域における高年齢者等の雇用・就業の機会の確保の目標

### (1) アウトプット指標

【令和4年度】

	各種施策	内容	目標	1年目（令和4年度）				設定根拠
				第1	第2	第3	第4	
1	窓口設置・運営事業	ワンストップの相談窓口開設	おしごとパレット来所数（人数、事業所数）延べ件数	50人			50人	人数15人/月 事業所1、2件/月
2	就労支援事業	就労を望むような知識やスキルを持った人材の育成	都市部企業のオンラインセミナーの参加者数 延べ人数	10人			10人	セミナー回数1回/月 参加者20人/回のうち、オンライン3、4人/回
3	プロモーション事業	SNSやインターネットを活用するプロモーションにより、随時最新の情報を提供	SNSのいいねの数 実件数	100件			100件	投稿件数20件/3月 いいね件数5回/投稿
3	プロモーション事業	SNSやインターネットを活用するプロモーションにより、随時最新の情報を提供	おしごとカルテ登録者数（就労希望者）実人数	30人			30人	登録者数：30人
4	P D C A サイクル 確立事業	雇用をする事業者側のニーズ調査、そのニーズに向けた施策の企画・立案、実施した事業に対する評価、次回施策への反映とP D C Aの確立	おしごとカルテ登録者数（雇用をしたい事業者） 実件数	10件			10件	登録件数：10件

【令和5年度】

	各種施策	内容	目標	2年目（令和5年度）				設定根拠	
				第1	第2	第3	第4		
1	窓口設置・運営事業	ワンストップの相談窓口開設	おしごとパレット来所数（人数、事業所数）延べ件数	600人	150人	150人	150人	150人	人数48人/月 事業所2件/月
2	就労支援事業	就労を望むような知識やスキルを持った人材の育成	都市部企業のオンラインセミナーの参加者数 延べ人数	40人	10人	10人	10人	10人	セミナー回数1回/月 参加者20人/回のうち、オンライン3、4人/回
3	プロモーション事業	SNSやインターネットを活用するプロモーションにより、随時最新の情報を提供	SNSのいいねの数 実件数	400件	100件	100件	100件	100件	投稿件数20件/3月 いいね件数5回/投稿
3	プロモーション事業	SNSやインターネットを活用するプロモーションにより、随時最新の情報を提供	おしごとカルテ登録者数（就労希望者）実人数	120人	30人	30人	30人	30人	登録者数：120人
4	PDCAサイクル確立事業	雇用をする事業者側のニーズ調査、そのニーズに向けた施策の企画・立案、実施した事業に対する評価、次回施策への反映とPDCAの確立	おしごとカルテ登録者数（雇用をしたい事業者）実件数	40件	10件	10件	10件	10件	登録件数：40件

【令和6年度】

	各種施策	内容	目標	3年目（令和6年度）				設定根拠	
				第1	第2	第3	第4		
1	窓口設置・運営事業	ワンストップの相談窓口開設	おしごとパレット来所数（人数、事業所数）延べ件数	1,000人	250人	250人	250人	250人	人数80人/月 事業所3、4件/月
2	就労支援事業	就労を望むような知識やスキルを持った人材の育成	都市部企業のオンラインセミナーの参加者数 延べ人数	100人	25人	25人	25人	25人	セミナー回数1回/月 参加者20人/回のうち、オンライン8、9人/回
3	プロモーション事業	SNSやインターネットを活用するプロモーションにより、随時最新の情報を提供	SNSのいいねの数 実件数	1,000件	250件	250件	250件	250件	投稿件数20件/3月 いいね件数12、13回/投稿
3	プロモーション事業	SNSやインターネットを活用するプロモーションにより、随時最新の情報を提供	おしごとカルテ登録者数（就労希望者）実人数	160人	40人	40人	40人	40人	登録者数：160人
4	PDCAサイクル確立事業	雇用をする事業者側のニーズ調査、そのニーズに向けた施策の企画・立案、実施した事業に対する評価、次回施策への反映とPDCAの確立	おしごとカルテ登録者数（雇用をしたい事業者）実件数	100件	25件	25件	25件	25件	登録件数：100件

(2) アウトカム指標

【令和4年度】

	各種施策	内容	目標	1年目（令和4年度）				データ把握方法	
				第1	第2	第3	第4		
1 3	窓口設置・運営事業	ワンストップの相談窓口開設	高年齢者の雇用・就業者数（年間通算）実人数	3人				3人	就労状況をおしごとカルテに登録していき、集計する
			(i)週の所定労働時間が20時間以上で、雇用保険の適用対象となる雇用者の数	0人					
			(ii)上記(i)以外（週の所定労働時間が20時間未満）の雇用者の数、シルバー人材センターでの就業者数及び有償ボランティア数の合計数	3人				3人	
			(iii)無償ボランティアの数	0人					
1 3	窓口設置・運営事業	窓口でのマッチング支援	環境整備事業利用者の満足度	90%				90%	利用者へのアンケート
1 3	プロモーション事業	SNSやインターネットを活用するプロモーションにより、随時最新の情報を提供	環境整備事業を利用した高年齢者以外の者の雇用・就業者数 実人数	3人				3人	就労状況をおしごとカルテに登録していき、集計する
			(i)週の所定労働時間が20時間以上で、雇用保険の適用対象となる雇用者の数	0人					
			(ii)上記(i)以外（週の所定労働時間が20時間未満）の雇用者の数、シルバー人材センターでの就業者数及び有償ボランティア数の合計数	3人				3人	
			(iii)無償ボランティアの数	0人					
2	就労支援事業	就労を望むような知識やスキルを持った人材の育成	新しい働き方（副業・起業など）の創出件数実件数	0件					就労状況をおしごとカルテに登録していき、集計する
2	就労支援事業	就労を望むような知識やスキルを持った人材の育成	市外都市部企業人材（＝パレットアシスタント）が市民及び市内企業等に関与した数（相談、講習など）延べ件数	5件				5件	パレットアシスタントの事業報告により確認
2	就労支援事業	就労を望むような知識やスキルを持った人材の育成	仕事を通じたコミュニティの件数延べ人数	3件				3件	おしごとカルテでの集計及び利用者へのヒアリング
4	P D C A サイクル 確立事業	雇用をする事業者側のニーズ調査、そのニーズに向けた施策の企画・立案、実施した事業に対する評価、次回施策への反映とP D C Aの確立	仕事創出件数 延べ件数	10件				10件	おしごとカルテの集計

【令和5年度】

	各種施策	内容	目標	2年目（令和5年度）				データ把握方法	
				第1	第2	第3	第4		
1 3	1窓口設置・運営事業	ワンストップの相談窓口開設	高齢者の雇用・就業者数（年間通算）実人数	24人	6人	6人	6人	6人	就労状況をおしごとカルテに登録していき、集計する
			(i)週の所定労働時間が20時間以上で、雇用保険の適用対象となる雇用者の数	1人	1人				
			(ii)上記(i)以外（週の所定労働時間が20時間未満）の雇用者の数、シルバー人材センターでの就業者数及び有償ボランティア数の合計数	23人	5人	6人	6人	6人	
			(iii)無償ボランティアの数	0人					
1 3	窓口設置・運営事業	窓口でのマッチング支援	環境整備事業利用者の満足度	92%	92%	92%	92%	92%	利用者へのアンケート
1 3	プロモーション事業	SNSやインターネットを活用するプロモーションにより、随時最新の情報を提供	環境整備事業を利用した高齢者以外の者の雇用・就業者数 実人数	24人	6人	6人	6人	6人	就労状況をおしごとカルテに登録していき、集計する
			(i)週の所定労働時間が20時間以上で、雇用保険の適用対象となる雇用者の数	1人	1人				
			(ii)上記(i)以外（週の所定労働時間が20時間未満）の雇用者の数、シルバー人材センターでの就業者数及び有償ボランティア数の合計数	23人	5人	6人	6人	6人	
			(iii)無償ボランティアの数	0人					
2	就労支援事業	就労を望むような知識やスキルを持った人材の育成	新しい働き方（副業・起業など）の創出件数実件数	2件			1件	1件	就労状況をおしごとカルテに登録していき、集計する
2	就労支援事業	就労を望むような知識やスキルを持った人材の育成	市外都市部企業人材（＝パレットアシスタント）が市民及び市内企業等に関与した数（相談、講習など）延べ件数	40件	10件	10件	10件	10件	パレットアシスタントの事業報告により確認
2	就労支援事業	就労を望むような知識やスキルを持った人材の育成	仕事を通じたコミュニティの件数延べ人数	100件	25件	25件	25件	25件	おしごとカルテでの集計及び利用者へのヒアリング
4	P D C A サイクル 確立事業	雇用をする事業者側のニーズ調査、そのニーズに向けた施策の企画・立案、実施した事業に対する評価、次回施策への反映とP D C Aの確立	仕事創出件数 延べ件数	140件	20件	30件	40件	50件	おしごとカルテの集計



【令和6年度】

各種施策	内容	目標	3年目（令和6年度）				データ把握方法		
			第1	第2	第3	第4			
1 3	1窓口設置・運営事業	ワンストップの相談窓口開設	高齢者の雇用・就業者数（年間通算）実人数	36人	9人	9人	9人	9人	就労状況をおしごとカルテに登録していき、集計する
	内訳	(i)週の所定労働時間が20時間以上で、雇用保険の適用対象となる雇用の数	1人	1人					
		(ii)上記(i)以外（週の所定労働時間が20時間未満）の雇用の数、シルバー人材センターでの就業者数及び有償ボランティア数の合計数	35人	8人	9人	9人	9人		
		(iii)無償ボランティアの数	0人						
1 3	窓口設置・運営事業	窓口でのマッチング支援	環境整備事業利用者の満足度	95%	95%	95%	95%	95%	利用者へのアンケート
1 3	プロモーション事業	SNSやインターネットを活用するプロモーションにより、随時最新の情報を提供	環境整備事業を利用した高齢者以外の者の雇用・就業者数 実人数	36人	9人	9人	9人	9人	就労状況をおしごとカルテに登録していき、集計する
	内訳	(i)週の所定労働時間が20時間以上で、雇用保険の適用対象となる雇用の数	1人	1人					
		(ii)上記(i)以外（週の所定労働時間が20時間未満）の雇用の数、シルバー人材センターでの就業者数及び有償ボランティア数の合計数	35人	8人	9人	9人	9人		
		(iii)無償ボランティアの数	0人						
2	就労支援事業	就労を望むような知識やスキルを持った人材の育成	新しい働き方（副業・起業など）の創出件数実件数	4件	1件	1件	1件	1件	就労状況をおしごとカルテに登録していき、集計する
2	就労支援事業	就労を望むような知識やスキルを持った人材の育成	市外都市部企業人材（＝パレットアシスタント）が市民及び市内企業等に関与した数（相談、講習など）延べ件数	100件	25件	25件	25件	25件	パレットアシスタントの事業報告により確認
2	就労支援事業	就労を望むような知識やスキルを持った人材の育成	仕事を通じたコミュニティの件数延べ人数	200件	50件	50件	50件	50件	おしごとカルテでの集計及び利用者へのヒアリング
4	P D C A サイクル 確立事業	雇用をする事業者側のニーズ調査、そのニーズに向けた施策の企画・立案、実施した事業に対する評価、次回施策への反映とP D C Aの確立	仕事創出件数 延べ件数	300件	60件	70件	80件	90件	おしごとカルテの集計

## 5 民間資金等の調達

### 【令和5年度】

#### (1) 業務委託による収益化

ア 求人を行う事業所から業務委託を受け、就労を希望する人への再委託をする形態を確立することで、手数料を収益化する。業務委託を受ける際には、仕事内容について丁寧にヒアリングを行い、就労を希望する人とマッチングがしやすい業務に整理・分解を目指し、仕組みの構築・運用を行う。

#### (2) カフェ運営

ア 気軽に立ち寄れるコミュニティの中心になるためにも、ワンストップ窓口で実際のカフェ機能の併設や運営による資金調達も検討したい。カフェにおいては、地産地消をコンセプトに実際に仕事を行う事業所で収穫される産品を使用するなど、市内の仕事が循環していくイメージを持たせる。

### 【令和6年度】

#### (1) 業務委託による収益化

ア 求人を行う事業所から業務委託を受け、就労を希望する人への再委託をする形態による手数料の収益化を継続して実施する。令和5年度の業務委託実績や事業者側や就労希望者に対するヒアリングを踏まえて改善を図り、業務委託を収益化する仕組みの完成を目指す。

#### (2) カフェ運営

ア 気軽に立ち寄れるコミュニティの中心になるための、ワンストップ窓口で併設するカフェ運営を継続する。カフェだけの利用者も歓迎することで、収益化と間口の拡大を両立する。地産地消をコンセプトに実際に仕事を行う事業所で収穫される産品を使用するなど、市内の仕事が循環していくイメージを実現する。

#### (3) 人材育成セミナー業務委託

ア 人材育成に関するセミナーやスキルアップ講座の知見を蓄積し、魅力的な講座を創造することで、市内事業者から社内の人材育成の業務委託を受け収益化を目指す。

#### (4) プラットフォームやモデル事業に関する講演・視察受入

ア おしごとパレットの仕組みが先進事例として認知されることにより、パレットコーディネーターが主としてプラットフォームやモデル事業に関する講演を行う。また、視察受入による収入も見込む。

## 6 豊前市が実施している地域福祉・地方創生等の地域活性化などの取組

### (1) 環境整備事業と自治体事業等との連携により期待される効果

令和3年度から令和6年度にかけ、地方創生推進事業の生涯活躍のまち分野で「ひとりひとりが主役の豊前市「ハレノヒ」実現プロジェクト」に取り組んでいる。豊前市に関わるすべての人々（活躍人口）が、豊前市という場所で自分の居場所を持ち活躍できる場や時間（ハレノヒ）を実現するために、様々な事業を複層的に実施している。高年齢者層に対しては地域住民自らが地域の高齢化、買物難民化、担い手不足、などを協議し地域課題解決を図る地域づくり協議会の支援、また、急速なデジタル化社会に対応するためスマートフォン教室を実施している。さらに、地域住民がボランティア活動を安心して幅広く実施できるよう豊前市社会福祉協議会内にボランティアセンターを立ち上げた。地域住民が主体となってどのようなまちにしていきたいか協議を重ね、その結果、海から山まで広い地域を循環する仕組みづくりを進めており、規格外野菜を廃棄していた農業者と地域の飲食店を繋ぎ販路拡大が成功した事例が出てくるなど動きも活発になっている。これら地方創生での展開についても、地域で生きがいを持って活躍していただくための取組であり、高年齢者層や障がい者、子育て中の方、学生などの活躍の場として紹介できる。

「おしごとパレット」の事業が実施できるようになれば、新たな仕事を通じた活力が生まれ、今まで活躍の機会が少なかった人も活躍する機会が増加すると同時に、地域での生きがいややりがいを生むことができる。市民の約4割弱が65歳以上である本市にとっては、高年齢者層が仕事を通じて活躍することなくして、まち全体の活性化が見込まれない。さらに、繁忙期に人手が足りない、求人をしていても応募がないなどの課題を解決しつつ、地域経済を循環する仕組みづくりとすることができる。本事業の取組を通し高年齢者層を含む多様な人々が「仕事」をすることにより、それぞれの「楽しい」を見つけ新たなコミュニティに参画し活躍していく、持続可能な地域づくりとの相乗効果を見込む。

## (2) 事業実施後に見込まれる重点業種等における雇用・就業機会の創出効果

地方創生事業を牽引するために組織化を予定している「ハレノヒまちづくり会社（仮称）」へ機能を移行し、その収益事業の柱として生涯活躍地域づくりを継続して進める。この組織では、地方創生に関する業務として、ふるさと納税業務の受託や特産品の開発などのその他事業収益の柱を別に持つことで、収益事業毎に支え合い、結果としておしごとパレット機能が持続可能な取組を想定している。

農林水産業は、繁忙期の重なりなどが引き続き見込まれるものであり、おしごとパレットの創出する多様な雇用・就業機会の創出効果は継続して見込まれる。

製造業は、本市の主要産業であり労働力の必要数が多いのに対し、引き続き若手就労希望者が少ない状況が見込まれるため、おしごとパレットの創出する多様な雇用・就業機会の創出効果は継続して見込まれる。

I T系業種は、本市の新たな企業誘致施策を通して企業数の増加が見込まれ、これに対し人財の提供が引き続き求められると予測されることから、おしごとパレットの創出する多様な雇用・就業機会の創出効果は継続して見込まれる。

## 第2 本計画の協議先となる協議会

### 1 協議会の名称及び構成員

#### (1) 協議会の名称

豊前市生涯活躍地域づくり協議会

#### (2) 協議会の構成員と参画の趣旨・役割

構成員	参画の趣旨・役割
(代表) 豊前市役所 豊前市長 後藤元秀	総合政策課：事務局、庁内調整、関係機関調整 商工観光課 雇用関係・事業者情報収集 健康長寿推進課：高齢者対策関係・高齢者に関する情報収集
(副代表) 豊前市まち・ひと・しごと創生会議 議長 宮房幸司	地方創生事業との連携強化
豊前商工会議所 会頭 宮房幸司 (豊前市まち・ひと・しごと創生会議)	各種事業者からの情報収集、情報提供 (主に市内商工業者)
(監事) 一般社団法人豊前市観光協会 会長 田北信行 (豊前市まち・ひと・しごと創生会議)	各種事業者からの情報収集、情報提供 (主に観光業関係者)
J A福岡京築 代表理事組合長 時本 数章 (豊前市まち・ひと・しごと創生会議)	各種事業者からの情報収集、情報提供 (主に農業関係者)
豊築漁業協同組合 組合長 高松 三男 (豊前市まち・ひと・しごと創生会議)	各種事業者からの情報収集、情報提供 (主に漁業関係者)
豊築森林組合 組合長 白川 義雄 (豊前市まち・ひと・しごと創生会議)	各種事業者からの情報収集、情報提供 (主に林業関係者)
福岡県京築県土整備事務所 所長 西 亮 (豊前市まち・ひと・しごと創生会議)	各種事業者からの情報収集、情報提供 (主に県・建設業関係者)
西日本工業大学 学長 片山 憲一 (豊前市まち・ひと・しごと創生会議)	学識情報の提供、就労希望者としての学生の情報提供 (有識者：教授 石垣充)

福岡銀行 豊前支店 支店長 中村 泰弘 (豊前市まち・ひと・しごと創生会議)	各種事業者からの情報収集、情報提供
西日本シティ銀行 豊前支店 支店長 中島 聡 (豊前市まち・ひと・しごと創生会議)	各種事業者からの情報収集、情報提供
福岡ひびき信用金庫 豊前支店 支店長 田中 邦明 (豊前市まち・ひと・しごと創生会議)	各種事業者からの情報収集、情報提供
学校法人矢倉学園 豊前幼稚園 理事長 矢倉 弘宣 (豊前市まち・ひと・しごと創生会議)	就労希望者としての子育て中の方々の情報提供
社会福祉法人 豊前市社会福祉協議会 会長 谷崎 勝	ボランティアの受け皿提供（ボランティアセンター）その他、社会福祉協議会のもつ情報の提供
公益社団法人 豊前・上毛シルバー人材センター 後藤 元秀	高齢者層就労の受け皿提供（おしごとパレットからの就労希望者紹介、請負業務のうちおしごとパレットへの情報提供など）
職業訓練法人豊前地区職業訓練協会 会長 後藤元秀	就労希望者に対する資格取得関係情報提供

## 2 計画期間終了後における協議会の在り方

地方創生推進事業「ひとりひとりが主役の豊前市「ハレノヒ」実現プロジェクト」でも持続可能で活躍を生み出し続ける組織として令和6年度までには「ハレノヒまちづくり会社（仮称）」の組織化を目指している。「豊前市で活躍を生み出し続ける」という共通理念を持つことから、協議会にて構築した仕組みや機能を組織化と同時にこの組織に統合すべく令和5年度から協議を進め、創り上げた仕組みや機能の持続及び令和7年度からの自走を目指す。

地方創生推進事業の根幹をなす豊前市まち・ひと・しごと創生会議を主とする協議会組織が協議会機能を持つことで、スムーズな協力体制の構築が可能となる。生涯活躍地域づくりにおいて、いわば、ハレノヒが企画・営業・製造を担う部門、「おしごとパレット」プロジェクトが人事部門を担うイメージである。ハレノヒの自走の仕組みとしては、本市のふるさと納税業務の受託、及び特産品の開発、交流拠点やサテライトオフィスの賃料を想定している。パレットの自走の仕組みとしては、本プロジェクトの枠組みによる業務委託やカフェの運営、人材育成、先進事例としての講座や視察受入による収益を想定している。今回ノウハウ提供を受けるしごと

コンビニでは、岡山県奈義町（人口約6000人）では開始から2年間の売上が約3,000万円、北海道東川町（人口約8000人）では同約4000万円となっており、収益化の柱になり得る仕組みであると想定している。また、組織の中で収益の柱を複数作ることで、単独では収支均衡が図れない場合でも柔軟な対応が可能となり、その結果、パレット及びハレノヒの目的とする「生涯活躍地域づくり」が継続し、生き生きと活躍する地域を目指す。